



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 **santec**株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部経営企画グループ長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,637	28.0	38	—	115	50.6	416	94.6
27年3月期第2四半期	1,279	△12.8	△21	—	76	△49.5	214	41.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △14百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 42百万円 (△84.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	34.86	—
27年3月期第2四半期	17.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	8,990	7,837	87.2	655.30
27年3月期	9,173	7,971	86.9	666.50

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,837百万円 27年3月期 7,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	14.1	240	1.2	340	△19.9	550	21.1	45.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	11,961,100株	27年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	314株	27年3月期	314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	11,960,786株	27年3月期2Q	11,960,786株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで。以下、「当第2四半期」）における世界経済は、米国経済が堅調に推移し、我が国においても政府及び日本銀行の経済政策により緩やかな回復基調にある一方、欧州情勢に対する不安や中国経済の成長減速懸念など、新興国経済を巡る下振れリスクが予測されることから、世界経済全体の先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、平成28年3月期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで。）の基本方針として、「顧客ニーズの先取りとBU（ビジネスユニット）の自立成長」を掲げ、積極的な新製品の販売促進、品質維持・向上による顧客からの信頼獲得、及び社員の知的体力増進による業務効率化と生産性向上を目指し、事業活動を展開しております。

この結果、当第2四半期の連結売上高は1,637百万円と、前第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで。以下、「前第2四半期」）の1,279百万円に比して28.0%の増加となりました。主として、近年減収傾向にあった光部品関連製品の売上が北米を中心として大幅に増加した為であります。これに伴い、営業利益は38百万円と、前第2四半期の営業損失21百万円から利益へ転じました。さらに経常利益は115百万円と、前第2四半期の経常利益76百万円と比して50.6%増加しております。

当社は、平成27年8月25日付「特別利益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ」で開示しました通り、当社が所有していたTransmode社（スウェーデン）株式会社について、Infinera社（米国）との間でTOBが成立したことから、特別利益（投資有価証券売却益）409百万円を計上しました。これを加え、当第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は416百万円となり、前第2四半期の214百万円に比して大幅増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

同事業におきましては、北米を主として通信キャリア向けが好調であったことに加え、ベトナム工場の稼働率が改善してモニター製品を中心に売上が伸びたことから、当第2四半期の売上高は706百万円と、前第2四半期の486百万円に比して45.3%の大幅な増加となりました。ベトナム工場立ち上げへの先行投資により経費は増加しましたが、大幅な売上増加に伴い、セグメント利益は51百万円と、前第2四半期のセグメント損失3百万円に比して大きく改善しております。

② 光測定器関連事業

同事業におきましては、主力製品である波長可変光源製品の引き合いが北米を中心に好調であったことから、当第2四半期の売上高は700百万円と、前第2四半期の582百万円に比して20.3%増加いたしました。利益率の高い製品の売上が、円安効果の高い米国で伸びたことが寄与し、セグメント損失は35百万円と、前第2四半期のセグメント損失55百万円に比して回復しております。

同事業では、当第2四半期において、OCT光源技術を米国子会社の社内ベンチャーを通じて医療機器へ応用し、医療機器ブランド「movu」を立ち上げました。「movu」の製品第一弾として眼科向けAdvanced Optical Biometer（製品名：ARGOS）を開発し、ヨーロッパ市場で営業活動を開始いたしました。さらに、3Dプリンターの開発・販売を行う米国AIO Robotics, Inc.と、日本及び韓国での同社製品の独占販売、技術提携、ならびに同社への出資について契約を締結いたしました。引き続き先進的で画期的な製品の高性能化、及び医療機器や工業用途などの新分野開拓を目指してまいります。

③ システム・ソリューション事業

同事業における当第2四半期の売上高は230百万円と、前第2四半期の210百万円に比して9.4%増加いたしました。主として、モバイルデバイスなどからPCを操作するPC遠隔操作ソリューションの更新ビジネスが安定している為です。一方で、新顧客開拓のため営業費用を積み上げたことにより、セグメント利益は22百万円と、前第2四半期の37百万円に比して減少しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末（9,173百万円）に比べて182百万円減少し、8,990百万円となりました。これは、売掛金及び投資有価証券の減少などによるものであります。

② 負債

当第2四半期末の負債は、前連結会計年度末（1,201百万円）に比べて48百万円減少し、1,152百万円となりました。これは、未払費用及び繰延税金負債の減少などによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,971百万円)に比べて133百万円減少し、7,837百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

光部品関連事業におきましては、北米において、通信設備投資が通信キャリア向けを中心に、活発に行われており、この機会を確実に捕らえるため顧客のニーズを先取りすることが非常に重要となっております。光測定器関連事業及びシステム・ソリューション事業におきましては、次の成長に向けて、新規製品開発、新規商品発掘に注力することがより重要となってきた時期であると考えております。

通期連結業績予想につきましては、平成27年8月25日に公表いたしました業績予想から修正はありません。連結業績に影響を与える見積もりや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。期末配当予想に関しましても、平成27年5月8日付発表のものから変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,414	2,086,598
受取手形及び売掛金	1,052,104	728,341
電子記録債権	58,320	—
有価証券	244,092	486,341
商品及び製品	294,652	276,901
仕掛品	54,550	100,870
原材料	115,373	188,419
その他	48,978	69,612
貸倒引当金	△603	△262
流動資産合計	3,856,883	3,936,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,581,678	1,546,169
機械装置及び運搬具(純額)	25,021	24,771
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	2,096	1,850
建設仮勘定	19,783	18,960
その他(純額)	67,906	99,293
有形固定資産合計	3,289,063	3,283,623
無形固定資産	23,553	31,082
投資その他の資産		
投資有価証券	1,962,171	1,697,138
その他	41,570	42,136
投資その他の資産合計	2,003,741	1,739,274
固定資産合計	5,316,359	5,053,979
資産合計	9,173,242	8,990,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	259,901	310,631
未払法人税等	112,065	139,764
賞与引当金	17,892	61,925
役員賞与引当金	15,449	—
その他	261,849	212,429
流動負債合計	667,158	724,750
固定負債		
退職給付に係る負債	351,119	365,051
資産除去債務	11,623	11,757
その他	171,434	51,282
固定負債合計	534,176	428,092
負債合計	1,201,335	1,152,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	1,329,445	1,626,748
自己株式	△119	△119
株主資本合計	7,517,358	7,814,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445,679	16,063
為替換算調整勘定	8,869	7,235
その他の包括利益累計額合計	454,548	23,298
純資産合計	7,971,907	7,837,959
負債純資産合計	9,173,242	8,990,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,279,251	1,637,002
売上原価	652,352	889,971
売上総利益	626,899	747,031
販売費及び一般管理費	648,811	708,981
営業利益又は営業損失(△)	△21,912	38,049
営業外収益		
受取利息	28,598	34,949
受取配当金	29,838	8,354
為替差益	40,890	35,303
その他	18,549	17,431
営業外収益合計	117,877	96,038
営業外費用		
支払利息	20	20
不動産賃貸費用	7,621	6,868
休止固定資産関係費用	11,652	10,514
その他	0	1,215
営業外費用合計	19,293	18,618
経常利益	76,671	115,469
特別利益		
固定資産売却益	259	-
投資有価証券売却益	-	430,377
受取補償金	211,277	-
その他	-	3,469
特別利益合計	211,536	433,846
特別損失		
固定資産除却損	45	114
特別損失合計	45	114
税金等調整前四半期純利益	288,163	549,202
法人税等	73,875	132,291
四半期純利益	214,288	416,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,288	416,910

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	214,288	416,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194,181	△429,616
為替換算調整勘定	22,143	△1,634
その他の包括利益合計	△172,037	△431,250
四半期包括利益	42,250	△14,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,250	△14,339
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	288,163	549,202
減価償却費	56,206	63,508
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,706	13,932
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,000	44,015
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△15,449
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△356	△342
受取利息及び受取配当金	△58,437	△43,303
支払利息	20	20
為替差損益 (△は益)	△32,716	△35,452
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△430,377
固定資産除却損	45	114
固定資産売却損益 (△は益)	△259	—
売上債権の増減額 (△は増加)	196,752	380,718
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△81,440	△101,614
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,995	52,483
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,257	△25,317
その他	30,703	△82,143
小計	421,134	369,993
利息及び配当金の受取額	61,284	41,379
利息の支払額	△20	△20
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△29,364	△102,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	453,034	308,602
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,687	△46,767
有形固定資産の売却による収入	259	—
無形固定資産の取得による支出	△5,920	△9,122
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△290,216	△668,855
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	630,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367,564	△93,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△71,545	△119,221
リース債務の返済による支出	△260	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,805	△119,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,262	1,841
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	67,925	97,183
現金及び現金同等物の期首残高	1,826,922	1,989,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,894,848	2,086,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	486,028	582,744	210,478	1,279,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	486,028	582,744	210,478	1,279,251
セグメント利益又は損失(△)	△3,652	△55,900	37,640	△21,912

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	706,000	700,768	230,233	1,637,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	706,000	700,768	230,233	1,637,002
セグメント利益又は損失(△)	51,572	△35,926	22,403	38,049

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。